

なら歴史芸術文化村
滞在アーティスト
誘致交流事業

OPEN CALL

滞在 アーティスト 募集

募集期間 2022年4月19日(火)ー2022年5月31日(火) [必着]

審査委員 西尾美也(美術家/奈良県立大学准教授)
服部滋樹(graf代表/クリエイティブディレクター)
松本耕士(なら歴史芸術文化村 プログラムディレクター)

主催 なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会
(なら歴史芸術文化村・天理大学・天理市)

協力 一般社団法人 CHISOU

<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/Item/1676.htm#itemid1676>



なら歴史芸術文化村の滞在アーティスト誘致交流事業では、奈良の豊かな歴史・芸術・文化を体験し、新しい視点と切り口で表現する作品を生み出そうとする、国内在住アーティスト2名(組)を募集します。

今春、新たにオープンしたなら歴史芸術文化村は、歴史、芸術、食と農など、奈良が誇る文化に触れることができる複合文化施設です。制作の拠点となる芸術文化体験棟のすぐ隣には、仏像や歴史的建造物など貴重な文化財の修復工房を備える文化財修復・展示棟があり、近隣は山辺の道や袖之内古墳群など壮大な歴史を物語る自然環境に恵まれています。

なら歴史芸術文化村での制作活動を通して、来村者や地域の人々と交流を図り、自然や歴史など地域の文化資源を掘り起こし、ジャンルを超えて歴史と現代を繋ぐ新しい芸術表現を試みようとする、意欲あるアーティストを歓迎します。

募集要項

募集期間

2022年4月19日(火)–2022年5月31日(火)

結果発表

2022年6月下旬

滞在期間

前期 2022年8月2日(火)–2022年9月26日(月) [56日間]

後期 2022年10月1日(土)–2022年12月18日(日) [79日間]

※滞在期間については応相談。

招聘人数

前期 1名または1グループ

後期 1名または1グループ

支援内容

制作費 400,000円

交通費 100,000円(上限)

宿泊費 6,600円/1泊(上限)

制作場所

なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟3F スタジオ303

応募方法

右記ウェブサイトより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、ポートフォリオと共に「なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業事務局」まで郵送、もしくはE-mailに各ファイルを添付して送信(容量は合計25MBまで)。なお、招聘が決定した場合、下記の提出資料については、事前の広報や宣伝のために主催者が使用できるものであること。

応募用紙について

応募用紙には6ヶ月以内に撮影したプロフィール写真を添付すること(グループの場合は全員が写るもの)。

ポートフォリオについて

・A4サイズ10枚以内。

※DVDやCD等での画像データの添付は不可。

・映像の場合、5分以内に編集したものを動画サイトやインターネット上にアップロードし、URLを記入すること。

・郵送の場合はレターパックを使用すること。

提出先・問い合わせ

〒632-0032 奈良県天理市袖之内町437-3

なら歴史芸術文化村

滞在アーティスト誘致交流事業事務局

Web

<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/item/1676.htm#itemid1676>

E-mail bunkamura@gmail.com

Tel 0743-86-4420(代表)



選考方法

提出された資料をもとに、なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会会長が委嘱した各審査委員の審査結果を参考に、主催者がアーティストを選考し、決定する。※選考についての問い合わせは受け付けておりません。

審査委員

西尾美也(美術家/奈良県立大学准教授)

服部滋樹(graf代表/クリエイティブディレクター)

松本耕士(なら歴史芸術文化村 プログラムディレクター)

応募条件

- 1 現在活動している国内在住のアーティスト(表現者)であること(ジャンル不問)。
- 2 18歳以上であること。
- 3 滞在中、奈良県の魅力に触れ、フィールドワークを通じて地域の人々や来村者との交流を積極的に行い、制作すること。
- 4 作品の制作場所は原則、なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟3Fスタジオ303で行うこと。
- 5 制作場所は公開されており、来訪者などが自由に見学できるようになっているため、開かれた環境下で制作を行うこと。
- 6 滞在中に作品を制作し、主催者と協議の上で成果発表を行うこと。
- 7 滞在中にワークショップやトークイベントなどを開催し、地域の人々や来村者と交流を図ること。
- 8 制作、生活において基本的にアーティスト自身で行うこと。
- 9 設営から撤去まで主体的に行うこと。
- 10 日本語での意思疎通ができること。
- 11 健康状態が良好であること。
- 12 新型コロナウイルス感染症対応として、Zoomを利用したオンラインミーティングができること。

招聘条件

主催者とアーティストは、以下の条件について、覚書を締結する。招聘条件における主催者からの負担内容は、アーティストが単身で来県することを原則としたもので、基本的に同伴者は不可とし、1グループに対しても単身分の負担内容とする。

1. 来県に関する事項

旅費

- ・主催者は期間中の1回分の往復交通費を支給する。支払い時期は、アーティストが文化村に到着した後とする。上限は100,000円とし、上限を超える交通費はアーティストの負担とする。
- ・原則として、公共交通機関を利用し、居住地の最寄り駅から天理駅間の合理的かつ経済的な経路の鉄道等往復運賃(1回分)を旅費とする。なお、車を利用する場合は奈良県の旅費規程に準ずる。

2. 制作、成果発表に関する事項

制作費

- ・主催者は、制作活動に係る費用(調査費、材料費、設営費、撤収費を含む)として400,000円を支給する。支払い時期はアーティストが文化村に到着後1週間以内とする。

制作場所

- ・なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟3Fスタジオ303を使用すること。
- ・自身が必要とする機材、工具などは持参すること(一部貸出可)。
- ・制作現場の清掃は、アーティストの使用範囲内はアーティスト自身が行うこと。
- ・館内のWi-Fiを使用できるが、PC及び周辺機器の貸出しはしない。
- ・その他館内での規則などを守ること。

成果発表

- ・滞在中に成果発表を行うこと。展示や公演など成果発表の会場と会期については、主催者と協議の上で決定する。但し、展示の場合、会期は延べ1週間以上とする。
- ・アーティストと来場者の交流を大切にしたいため、会期中はできる限り会場対応を行うこと(対応日数は相談に応じる)。
- ・設営や撤収の作業は原則としてアーティスト本人が行うこと(補助的作業については要相談)。
- ・成果発表期間中、メンテナンスが必要な場合は、アーティストが責任を持って行うこと。
- ・主催者は、成果発表に係る用品(キャプション、パネル等)はアーティストと協議の上、用意する。
- ・成果発表終了後、アーティストは原則、作品を自身で撤去しなければならない。作品を持ち帰る場合の梱包作業及び輸送費はアーティストの自己負担とする。
- ・主催者が記録した写真、映像等の著作権及び公益に資する広報宣伝のためにそれらを使用した権利は主催者に帰属する。主催者及び主催者の了承を受けた者はこれら全てを無償で使用できるものとする。
- ・本事業で制作された作品の著作権と所有権は全てアーティストに帰属する。

3. 取材に係る指示の遵守

- ・取材する場所、方法及び事前許可について、主催者から特段の指示がある場合、アーティストは必ずこれに従うこと。

4. 滞在中に関する事項

生活

- ・滞在中の生活費は支給しない。

宿泊

- ・主催者が宿泊先を紹介するが、紹介施設以外の施設に宿泊することも可能。宿泊費は6,600円/1泊を上限として支給する。

保険

- ・傷害保険及び、健康保険等はアーティスト自身で加入すること。主催者は保険加入等に関する義務は負わない。
- ・移動手段として、電動自転車の利用(無料)が可能。自転車保険の加入は主催者側で行う。

5. その他

活動記録

- ・主催者は本事業の記録のため、記録集を作成する。
- ・主催者はアーティストの作品及び活動を写真、映像で記録するため、アーティストは協力すること。なお、作成した記録はアーティストにも提供できるものとする。

マスコミ対応

- ・アーティストはマスコミ各社からの取材申し込みがある場合、可能な限り協力すること。制作に支障をきたしたり、プライバシーを侵害されたりする恐れがある場合は、主催者に申し出た上で取材を断ることができる。

サポーター

- ・期間中は必要に応じてスタッフによるサポートを受けることができる。サポート内容については、主催者と協議の上決定する。

新型コロナウイルス感染症等について

- ・状況により、本事業の実施や継続が困難であると判断された場合、主催者とアーティストが状況に応じて協議し、その対応について決定する。

奈良の歴史がすぐそこに！ 歴史を感じる場所がここにあります。

なら歴史芸術文化村の敷地内には文化財修復・展示棟があります。仏像等彫刻、絵画・書跡等、歴史的建造物、考古遺物、これら4分野の修復工房を通年で公開しています。また、周辺地域には沢山の古墳をはじめとする文化資源が点在しており、日本の歴史を五感で感じることができます。



滞在アーティスト誘致交流事業は、 天理アーティスト・イン・レジデンスモデル事業を継承しています。

奈良県天理市では、「芸術文化に出会える街」として平成30年度よりアーティストを誘致し、市民がアートに触れる機会を創出する取り組みを展開しています。

Art-Space TARN
<https://tenri-tarn.tumblr.com/AIR>



めぐみぐるてんり
<https://megumimegurutenri.com/>



なら歴史芸術文化村では、 様々なアーティスト交流事業を行います。

トップアーティストとの交流

世界で活躍するアーティストの活動を鑑賞するだけでなく、交流や体験を通して感性を刺激し、芸術に親しむ機会を創出します。

奈良ゆかりのアーティストとの交流

奈良にゆかりのあるアーティストとの出会いや交流を通して、来訪者が奈良を再発見し、アートを身近に感じ楽しむ機会を創出します。

文化村クリエイション

先進的な取り組みを行う多様な分野のアーティストを招聘し、来訪者がアーティストの思考に触れ、作品制作の過程に出会える場を創出します。